

尼崎市立武庫東中学校

3年学年だより

みどり学年

令和4年5月18日(水)

第3号

みんなの作文より 「修学旅行をふりかえって」

ラフティングでは、初めてウェットスーツを着ていざ川へ。教えてくれる方がとても親切で、わかりやすく、初めての体験を楽しむことができた。朝の雨のせいで川の水がかなり増水していて流れが速く、波もすごく、とてもスリルのある川下りだった。その後、バス内で自然についての話を聞き、自然についてもっと知り、守りたいと改めて思うようになった。(1組)

班活動では、班での協力で仲が深まったのはもちろん、班の人たちが、それぞれどんな人なのかというのを知ることができた。明治村では、明治のことについて学ぶことはできたけど、あまりゆっくり展示物を見ることができなかったのも、また行ける機会があったら行ってみたい。(1組)

修学旅行で学んだことがある。いつも親が布団をたたんだり敷いたりしてくれているけど、修学旅行では自分でやらないといけない。改めて親の大変さを身にしみ感じた。自分がどれだけ家族に頼っていたかわかった。旅行を通して学んだことをこれからの学校生活や家での生活につなげていきたい。(1組)

普段、あまりしゃべらない人と、班が一緒に不安でいっぱいだったけど、みんなフレンドリーな子ばかりで、自分からも話しかけることができてよかった。

修学旅行を通して、クラスの子と今まで以上に仲が深まったということが何よりもよかったし、うれしかった。(2組)

明治村では、班のみんなと協力し、リアル人生ゲームをクリアしていくというのがとても楽しかった。みんな、とてもやる気があって、一番にゲームが終わった。

謎解きや地図を見ながら次の所に行くなど、協力が最も大切だったと思った。

(2組)

マウンティングバイクが雨でできず、代わりに鍾乳洞の見学に行った。

地下はとても寒くて、地上に出たとき温かく感じた。鍾乳洞にある滝は30メートル位の高さから落ちてきてすごかった。地下に、こんなにきれいで大きな滝があるんだと初めて知った。(2組)

突然の 途中帰宅は 悲しいな (3組)

ジップラインでは、一回目台から飛び降りる瞬間、フワッとして怖かったけど何度もやっていくうちに手を離したり、くるくるしたりできるようになり、楽しかった。普段体験することができない空を飛ぶことができた。(3組)

バスの中で、レクレーション係が作ってくれたラジオを聞いたり、友達と話したりしている時間がとても楽しかったです。

ボート漕ぎ 心が和らく ラフティング (3組)

この3日間、天気も心配だったけど、とても晴れてクラスの中も深まった本当に楽しいひと時だった。このような楽しい思い出を長い時間かけて用意してくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱい。そして、今回学んだ協力すること、先を考えることの大切さ、自然体験で学んだ自然の美しさを忘れることなく、これから、受験生として進んでいこうと思う。(4組)

私は今回の修学旅行を終えて、計画通り最後までいけなかった残念さよりも、みんなと一緒に旅行を楽しめた嬉しさの方が大きい。正直、3日目の高山観光は自分たちで事前に予定を立てて、自由行動できる唯一の時間だったので、私は一番楽しみにしていた。しかし、今思い返してみても頭に浮かぶのは、楽しく笑っているところばかりだ。ハプニングも一つの思い出として、きっとみんなの心に刻まれていると思う。(4組)

心地よい 自然の空気 愛知岐阜 (4組)

修学旅行で最も大変だったのは、時間を守ることだったと思う。起床から朝食までの時間、入浴の時間など制限時間が短かったが、同じ部屋の子同士でお互い協力しあうことができた。これからの学校生活では自分の役割をしっかりと果たしたい。

(4組)

ラフティングとジップラインは、初めての体験で最初は怖かったけど、慣れてできるようになるととても楽しかった。コーチの話も興味深い話ばかりだった。

3日目の高山市内観光はできなくなってしまった。聞いたときは、悲しいというよりむなしいという思いのほうが強かった。時間がたつにつれ。コロナ禍で修学旅行に行けたというだけでも、奇跡なのかなと思った。機会があれば、みんなで高山市に行ってみたい。(5組)

3日目の朝、すごく楽しみと思いながら準備していたら、3日目はなくなったと知らされ悲しかった。でも、みんな何も言わず、大人になったんだなと思った。

バスでCDを聴きながら楽しく帰った。とても楽しい3日間だった。(5組)

クラスメートのメンバーと部屋で何日か過ごすのは予想以上に楽しく、初めてしゃべる人も中にはいて、一緒に過ごしていくうちに、いろいろな人と関われるようになったり、遊ぶことができるようになったので、いい思い出になった。

いくつかハプニングが起きてしまったけど、班のメンバーの協力のおかげで乗り越えることができた。クラスの空気はこういう行事の時、全員の行動の「当たり前」のレベルを変えるので、大切さがよく分かった。(5組)

長良川のラフティングは、前日に雨が降っていたので、流れが急でおもしろかった。すごく大きな波がきて全身びしょびしょになった。もっと上から滑っていきかけた。初めてだったので、こぎ方とか持ち方が全然わからなくて不安だったけど、ちゃんと教えてもらったら、意外と進んで楽しかった。3日目は行けなかったけどそれまでの2日間、想像以上に楽しめたので良かった。(6組)

最初、クラスに入ってきたとき、本当に接点のない人が多くて、修学旅行がすごく不安だった。修学旅行の一週間前位でようやく実感がわいてきた。そこから班で高山のルートを決めたり、レクで集まって話し合いをして、楽しかった。

修学旅行でできたことが、学校生活でできなくなるのは意味がないので、そんなことを頭の片隅において過ごしている。(6組)

2日目のジップラインは、標高1000メートルのひるがの高原から見る景色がとても印象に残っている。バスガイドさんの「人生は大人でいる時間のほうが長いから、子どもでいられる今の時間を大切に」という話と、最後のあいさつにとっても感動した。そして、何より修学旅行に協力してくれたたくさんの人に感謝の気持ちでいっぱい。3日間の思い出を忘れないように、大切に心の中にしまっておこうと思う(6組)



明治村 リアル人生ゲーム

第一位 おにぎり軍団 第二位 5-5 てあしあしなが 第三位 6-3 ペンギン

保護者の皆様

修学旅行におきましては、大変ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。

今後もコロナ感染予防対策を十分に行いながら、教育活動を進めてまいりますので、ご協力、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

引き続き、ご家庭で体調不良、発熱などありましたら無理をせず、自宅で様子を見てください。また、ご家族の方や生徒本人が、コロナ関係で医療機関を受診する場合は、学校に連絡をお願いします。そして医療機関、保健所の指示に従ってください。

心配な点がありましたら、学校にお問い合わせください。

修学旅行中の活動写真、集合写真は(株)サンショウで、インターネット注文となります。後日、プリントが配布されますので、どうぞご覧ください。